

ホタル通信

No.141-1 2015.10.18
小山のホタルと自然
を守る会 事務局
(042-797-1851)

[HP:<http://www.oyama-hotaru.com/>]

ホタル発生の川筋の 整備をしましょう。

11月1日(日)と11月7日(土)
午前9時30分～12時にします。
＜雨天延期＞

ホシザクラ、ヤブザクラの幼木の保護の仕事は、まだ残っていますが、追々やることにして、ホタル発生地での整備の仕事に移りたいと思います。その時期です。



片所谷戸には5種類のホタル(日本ホタルの会の方が調査)がいます(裏面参照、ホタル通信 105号の時に掲載)が、片所谷戸で主として飛光してくれるのはゲンジボタルですので、ゲンジボタルを中心にどんな整備の仕方が良いか考えましょう。

ゲンジボタルは今、川の中です(幼虫で約10ヶ月川の中にいる)。川に流れと川筋に気をつけてやらなければなりませんね。

それではどんな事に注意して整備すれば良いのでしょうか。

○ホタルは今どんな生活をしているのでしょうか。

7月の末に、幼虫になったゲンジボタルは、川に入り、一生懸命餌を食べ、来年の6月に陸上がりし、サナギになり、成虫になる事へ向かって、大きくなって来ています。

整備をするからと言って、その成長を邪魔するようなことをしてはいけません。

川を掘り起こす場合は、丁寧にやりましょう。

○餌も沢山なくてはなりません。

ゲンジボタルの幼虫は何を餌にしているでしょうか。

主に、カワニナ等の巻貝だと言われています。巻貝等が良く育つ川にしなくてはなりません。

○巻貝等の良く育つ川とはどんな川でしょうか。

水の質もありますが、餌も沢山なくてはなりません。カワニナが川岸のコケや川に落ちた広葉樹の葉や草の葉に群がっているのを観ました。巻貝は川に落ちた昆虫の死体とか有機物も食べ、川を綺麗にするそうです。

そうすると、水が流れるだけでなく、少し溜まっている所もあった方が良いでしょうね。

○ホタルは成虫になったら、餌は食べられず、水くらいしか飲まないとの事です。

◎そうすると、整備の仕方も難しいですね。

- ・唯単に生い茂った川筋の草や木をノコギリで刈れば良いものではありませんね。
- ・川の石等に苔等が生える様に心がけ、巻貝の餌になるような葉等を川の中へ落とす草や木は残しておいた方が良い。
- ・川岸に、陸上がりをし、サナギになり、成虫になる所を確保しておかなくてはならない。
- ・さらに、成虫が卵生み、その卵が幼虫になり、川に入る所を残しておかなくてはならない。
- ・所々に水たまりになるような所を作った方が良い。
- ・日当たりも気をつけましょう。等でしょうか。
- ・幼虫でも光ってくれるクロマドホタル等は陸生ですので、整備の時林の中も気をつけていなくてはなりませんね。

その他まだ気をつけなければならない事があるでしょうか。提案をお願いします。

頑張りましょう！

東京都下で見られるホタル11種(2012年4月現在)○印片所谷戸のホタル



ゲンジボタル



ヘイケボタル



クロマトボタル



オビボタル



オオオビボタル



ムネクリイロボタル



ムネクリイロボタル ヒメボタル



スジグロボタル



カタモンミナミボタル

